

ウシュアイア  
発着コース

偉大なる探検家たちとキングペンギン

# フォークランド諸島と サウスジョージア島、南極クルーズ 20日間

## 南極クルーズハイライト

- フォークランド諸島では英国風の町並みのスタンリーも訪れます。
- サウスジョージア島では、4種類のペンギンやおよそ30種類もの海鳥を観察します。
- 偉大な探検家アーネスト・シャクルトンが眠るサウスジョージア島で彼の足跡を訪ねます。
- 南極の知識を豊かにする野生生物や探検の歴史、南極の自然などのレクチャーを予定しています。

### ● 旅行開始日&終了日・期間・利用客船

旅行開始日～終了日	期間	利用客船
2016年12月19日(月)～1月7日(土)	20日間	オーシャン・ダイヤモンド

- 集合地/解散地：アルゼンチンのウシュアイア
- 宿泊ホテル：ウシュアイア/アルバトロス、ラス・レンガス、ロス・ニレス、カナル・ビーグル
- 食事条件：朝食19回、昼食17回、夕食18回



フォークランド諸島とサウスジョージア島、南極半島の広範囲を徹底的に巡る本格的な南極クルーズです。多種多様な野生生物や大自然が織り成すダイナミックな風景と美しい氷の世界を思う存分お楽しみいただけます。

### ● スケジュール

日	月日(曜)	日程	食事 朝食	夕食	宿泊
1	12/19(月)	午後 南米最南端のウシュアイア空港到着後、空港からホテルまでお送りいたします。クオーク社指定のホテルに宿泊			ウシュアイア
2	12/20(火)	午前 自由行動 午後 乗船手続 夕方 ウシュアイアから南極クルーズに出港	H	O	船中
3	12/21(水)	終日 南大西洋クルーズ	O	O	船中
4	12/22(木)	終日 フォークランド諸島観光	O	O	船中
5	12/23(金)	終日 フォークランド諸島観光	O	O	船中
6	12/24(土)	終日 南極海クルーズ	O	O	船中
7	12/25(日)	終日 南極海クルーズ	O	O	船中
8	12/26(月)	終日 サウスジョージア島観光	O	O	船中
9	12/27(火)	終日 サウスジョージア島観光	O	O	船中
10	12/28(水)	終日 サウスジョージア島観光	O	O	船中
11	12/29(木)	終日 サウスジョージア島観光	O	O	船中
12	12/30(金)	終日 南極海クルーズ	O	O	船中
13	12/31(土)	終日 南極海クルーズ	O	O	船中
14	1/1(日)	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
15	1/2(月)	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
16	1/3(火)	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
17	1/4(水)	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O	O	船中
18	1/5(木)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	船中
19	1/6(金)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O	O	船中
20	1/7(土)	午前 ウシュアイア入港/下船 午後 港からウシュアイア空港までお送りいたします。	O		

(注1) 上記スケジュール中、食事欄の「H」はホテルでの食事、「O」は船内食を表します。

### ● クルーズ料金(大人/お一人様)

※単位：米ドル(US\$)

利用客船	オーシャン・ダイヤモンド
旅行開始日	12月19日(月)
旅行終了日	1月7日(土)
期間	20日間
トリプル(3人部屋)	13,795
★ツイン(角窓)	19,595
ツイン(角窓)	20,995
スイート	22,995
バルコニー・スイート	25,995
シングル(丸窓)	24,595
★シングル(角窓)	24,595
アドベンチャーオプション	K/SN

※オーシャン・ダイヤモンドの「★印の客室タイプ」は、救命艇及び船体構造によって窓からの視界が遮られています。

● アドベンチャー・オプション記号説明  
K = カヤック SN = スノーシュー

### ● その他の主なみどころ

フォークランド諸島	カルカス島/ニューアイランド/ウェストポイント島
サウスジョージア島	ドリガルスキー・フィヨルド/ゴールドハーバー/プリオン島/ソールズベリー平原/セント・アンドリュース・ベイ/ストロムネス
サウスシェトランド島	アイチョ島/ハーブムーン島/ハンナ・ポイント/ペンギン島/ロバート島/タレットポイント/ヤンキー・ハーバー/デセプション島
南極半島	クーバービル島/ダンコ島/エンタープライズ島/ルメル海峽/ノイマイヤー海峽/メルチオール諸島/ネコハーバー/ピーターマン島/ブレノウ島/ポートロックロイ/パラダイス湾/オルネ湾/ダモイポイント/ウォーターポートポイント

※主な見どころは一例です。すべては一度の航海で訪れるわけではありません。気象、海象、氷などの厳しい自然環境下で上陸場所が変更になる場合がありますので予めご了承ください。



キングペンギンの大営巣地があり、10万羽ものキングペンギンが見学できます。

### ● 詳細日程

#### 第1日目 アルゼンチンのウシュアイア到着

ウシュアイア到着後、クオーク社の無料送迎バスでホテルへお送りいたします。着後、クオーク社指定のホテルに宿泊。  
ウシュアイア泊

#### 第2日目 乗船/ウシュアイア出港

夕刻、ウシュアイアから南極クルーズに出港します。この先に待ちうける非日常の世界に期待と興奮で胸が高まると思います。  
船中泊

#### 第3日目 南大西洋クルーズ

上陸観光やゾディアック・クルージング、アドベンチャー・オプションなどのガイドナスが行われます。図書室で南極関連の資料を読んだり、バーやデッキでおしゃべりを楽しんだり、ゆっくりとお寛ぎください。  
船中泊

#### 第4-5日目 フォークランド諸島観光

フォークランド諸島の東フォークランド島と西フォークランド島を訪れます。この2つの大きな島には、イワトビペンギン、ゼンツーペンギン、マゼランペンギンなどの営巣地があります。また、ここでは亜南極のみで繁殖するキングペンギンも見ることができるとも思われます。海鳥ではマユグロアホウドリやフォークランドツグミ、フォークランドフナガモなど多様な野生生物が生息しており、上陸観光やゾディアック・クルージングによる見学を予定しています。

スタンリーには、教会や博物館、イングリッシュ・バブなどが点在し、町並みはイギリス風で「辺境の町」といった魅力があります。  
船中泊

#### 第6-7日目 南極海クルーズ

南へ針路を進めます。船は生物学的に南極海域に入ったことを示す南極収束線を越えて航行します。この海域は、寒冷な南極海流と大西洋・太平洋からくる温暖な海流が混じり合うため非常に肥沃で、世界中の海で最もクジラやアザラシの観察に適しています。  
船中泊

#### 第8-11日目 サウスジョージア島観光

南極海域の中でもサウスジョージア島には多種多様な野生生物が生息し「南極のガラパゴス」と呼ばれています。

海岸線は10万羽にもおよぶキングペンギンの一大営巣地になっています。また、ミナミゾウアザラシやナンキョクオットセイも数多く生息しています。

サウスジョージア島は、長い間、南極探検や入植の要衝の島でした。当時の開拓者たちは、捕鯨やアザラシで生計を立てていました。一度は絶滅しかけたこれらの生物たちも今は、昔の個体数に戻りつつあります。

グリトヴィケンの集落には、南極探検中に非業の死を遂げた偉大な探検家アーネスト・シャクルトンが眠る墓地があります。現在、ここには、かつての捕鯨基地や博物館、土産物屋、教会、研究所があり、20名ほどの住民と科学者、助手たちが暮らしています。ここでは、捕鯨基地跡や入植の前線基地跡などを見学する予定です。  
船中泊

#### 第12-13日目 南極海クルーズ

キングペンギンに別れを告げ、南極大陸を目指します。条件が整えばこの行程でサウスオークニー諸島を訪れることもあります。  
船中泊

#### 第14-17日目 サウスシェトランド島と南極半島観光

南極大陸がだんだんと目前に迫ってきます。南極クルーズに参加されたお客様は壮大で神秘的な大自然を目の当たりにした時、畏怖の念を抱かれることが少なくないようです。なんといつてもその大部分は太古から人間の手に触れられておらず、独特の空気と時間が流れています。その完璧ともいえるような静けさや、言葉にできない寂寥をご体感ください。氷河が海に崩落する音やペンギンがよちよちと足元を歩いてくる音にハッとされることと思います。

イクスペディション・チームの安全管理と案内のもとで氷上を歩き、ペンギンたちに交じりながら観測基地を訪れます。ヒゲペンギン、ゼンツーペンギン、アデリーペンギン、ナンキョクオットセイ、ウェッデルアザラシ、カニクイアザラシ、ヒョウアザラシ、ミンククジラなど、挙げられるだけでもこれだけの多くの野生生物たちを上陸観光やゾディアック・クルージングで観察いただけます。

同様にアドベンチャー・オプションのカヤックで入り組んだ地形を探索することもできます。その他にも「ポーラー・ブランジ」と呼ばれる「南極海飛び込み大会」では南極の海で泳ぐこともできます。笑いあふれる参加型イベントです。  
船中泊

#### 第18-19日目 ドレーク海峡横断クルーズ

2週間以上の野生生物探索を終え、ドレーク海峡を横断し再びウシュアイアへ戻ります。  
船中泊

#### 第20日目 ウシュアイア入港/下船

午前、ウシュアイアに入港。下船後、クオーク社の無料送迎バスでウシュアイア空港までお送りいたします。